



進学塾メイツ 1人1台タブレット学習で志望校合格へ — 夏期講習2か月の5科目偏差値の結果報告 —

株式会社メイツ(本社：東京都新宿区 代表取締役：遠藤尚範)は、自社運営塾である進学塾メイツの夏期講習にて、都立入試対策コース5科目(英語・数学・国語・理科・社会)をタブレット教材のみで指導しました。指導時間は英語・数学：40時間ずつ、理科・社会：20時間ずつ、国語：25時間です。

このコースでは、生徒が**1人1台タブレット**を使い、自社開発のアダプティブラーニング教材『atom』を用いて学習を進めました。生徒はタブレット内のアダプティブラーニング機能により出題される問題を演習していき、講師は生徒の学習管理や質問対応をおこないました。

高田馬場教室に通っている中学3年生14名の5科目偏差値が夏期講習2ヶ月の学習により、どのように変化したのか、報告します。

- 5科目偏差値は**平均5.2アップ!** —10以上アップした生徒は2名、下がった生徒は0名—

偏差値変化について

2018年7月8日(日)と2018年9月2日(日)におこなわれる **W合格もぎ都立そっくりテスト** (出題範囲：中学1年～中学3年1学期)をそれぞれ受けてもらったところ、表1のような結果となりました。また、3科目・5科目それぞれの偏差値アップ帯別生徒数は表2のような結果となりました。

また、表3は主要科目である英語・数学の、**7月模試での偏差値帯別 向上結果**です。

表1 W合格もぎ都立そっくりテストの偏差値変化

	7月模試の 平均偏差値	9月模試の 平均偏差値	結果
英語	44.0	52.6	+8.6
数学	42.4	47.1	+4.7
国語	45.1	50.1	+5.0
理科	47.0	46.1	-0.9
社会	44.9	49.3	+4.4
3科目(英数国)	44.5	51.0	+6.5
5科目(英数国理社)	43.5	48.7	+5.2

表2 偏差値アップ度合い別生徒数

偏差値アップ度合い	生徒数	
	3科目	5科目
10.0以上	4	2
7.5以上 10.0未満	1	2
5.0以上 7.5未満	2	2
2.5以上 5.0未満	3	3
0.0以上 2.5未満	4	5

表3 英語・数学の偏差値帯別 向上結果

英語		数学	
7月模試での偏差値帯	平均偏差値向上結果	7月模試での偏差値帯	平均偏差値向上結果
		30 (1名)	向上が見られず
32-40 (4名)	+5.8	36-40 (5名)	+4.8
42-45 (6名)	+10.0	41-46 (5名)	+5.4
49-55 (4名)	+9.5	51-59 (3名)	+3.3

● 7月模試での偏差値帯別 考察と生徒・講師コメント

主要科目の英語と数学について、偏差値帯別に生徒コメントと講師コメントを記載します。また、そこから偏差値が上がった要因を考察します。

英語偏差値 32～40 の生徒たち(4名)

タブレット学習により平均で 5.8 偏差値が上がりました。アダプティブラーニングの【**反復性**】が結果に出ました。加えて、紙教材よりも集中して勉強することができたようです。

生徒コメント： 「英語の長文を少し理解できた」
「1年のところから勉強できた」
「基本的なことを何回も繰り返すことで理解できた」

講師コメント： 「タブレット学習だと周りに影響されず黙々と勉強できていた」
「一度集中すると最後までやり抜いていた」

英語偏差値 42～45 の生徒たち(6名)

タブレット学習により平均で 10.0 偏差値が上がりました。アダプティブラーニングの【**効率性**】が結果に出ました。また、生徒たちはタブレット上に表示される正答率や解説を参考に勉強していたようです。

生徒コメント： 「今まで勉強しなかったが、タブレット学習によりやるようになった」
「与えられた課題をしっかりとこなした」
「効率的に勉強し、かつ実戦的な演習ができた」
「わかるようになるまで繰り返す」

講師コメント： 「きっちりやるべきことをやっていた」
「わからないことがあれば質問をしてくれた」
「目に見えて正答率が高まっていくので、より頑張っていた」

英語の偏差値が 49～55 生徒たち(4名)

タブレット学習により平均で 9.5 偏差値が上がりました。タブレット学習だけでなく、プラスアルファを意識して勉強したようです。生徒自身の勉強への高い意識が偏差値向上につながったようです。

生徒コメント： 「タブレット上の解説だけでなく、先生に質問してしっかり理解しようとした」
「わかるようになるまでノートに書いた」
「覚えるべきことは絶対に覚えた」
「間違えた問題は答えだけでなく、原因部分を探して、ノートにメモした」

講師コメント： 「板書した解説だけでなく、口頭で説明した解説もノートにとっていた」
「質問して、理解できないことがあればそのままにしてなかった」

数学偏差値 36～40 の生徒たち(5名)

タブレット学習により平均で 4.8 偏差値が上がりました。アダプティブラーニングの【**反復性**】が結果に表れました。実戦的な問題演習が生徒のやる気を引き出したことも偏差値向上の要因だと考えられます。

生徒コメント：「自分が解ける問題を解けるように意識した」
「図形の問題や計算の途中式などはノートにしっかり書くようになった」

講師コメント：「繰り返し問題演習に取り組んでいた」
「実戦的な問題なので意識的に解こうと頑張っていた」

数学偏差値が 41～46 の生徒たち(5 名)

タブレット学習により平均で 5.4 偏差値が上がりました。問題ごとの難易度が変わる数学なので、同じく【**反復性**】が結果に出たようです。生徒たちは解くべき問題をしっかり解いたようです。

生徒コメント：「タブレットで繰り返し出される問題をしっかり解いていった」
「間違えた箇所を必ずなぜ間違えたかを書いた」

講師コメント：「自分のペースで真面目に勉強していた」
「間違えた問題がわかるので、積極的に質問していた」

数学偏差値が 51～59 の生徒たち(3 名)

タブレット学習により平均で 3.3 偏差値が上がりました。タブレット学習の【**反復性**】【**効率性**】に加え、生徒たちのモチベーションが高いことが結果につながったようです。

生徒コメント：「わからない問題はわかるようになるまで何度も解いたり、質問をしたりした」
「ひたすら問題演習を繰り返した」

講師コメント：「休憩時間も一生懸命勉強していた」
「もともと学力があったが、慢心せずに努力をし続けていた」

※数学偏差値 30 の生徒は向上しませんでした。

● 結果のまとめ・これからについて

偏差値帯ごとに、有効な学習にとって重要な要素が異なる

英語・数学の偏差値帯ごとの結果分析から、偏差値帯別の有効な学習には、それぞれ異なる要素が重要だということが判明しました。

- 偏差値 40 以下の生徒 … 【**反復性**】
- 偏差値 46 以下の生徒 … 【**反復性**】と【**効率性**】の両方
- 偏差値 49 以上の生徒 … 【**反復性**】【**効率性**】に加えて勉強に対するモチベーション管理

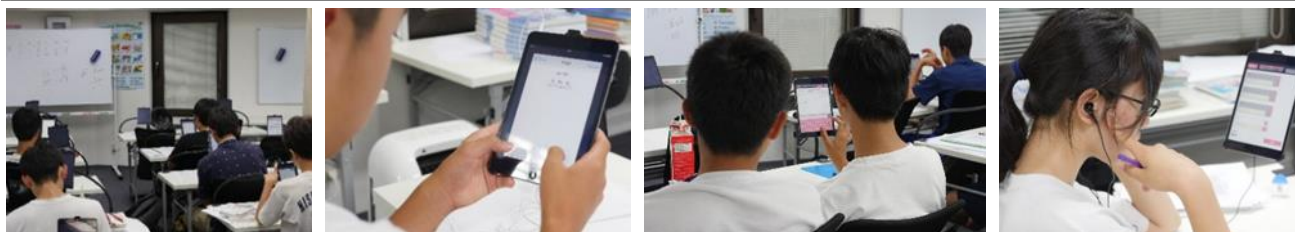
これらはアダプティブラーニング教材『atom』によるタブレット学習で判明しました。

今回、ほぼすべての生徒に『atom』が有効であることがわかりました。しかし、数学偏差値 30 の生徒が向上しなかったことや理科の偏差値がアップしなかったことなど、課題も残っています。

教材作りや運用方法を含め、冬期講習や直前講習で引き続きタブレット学習を続けていきます。また、FC の栃木県の教室やパートナー企業の都道府県でも同様にタブレット学習の効果測定を続け、報告していきます。

● 進学塾メイツについて

指導風景



進学塾メイツ高田馬場教室

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目25-34 小川ビル101

HP : <https://mates-sch.jp>

アダプティブラーニング機能で個別指導を進化させた塾

進学塾メイツでは、**1人1台タブレット指導**をおこなっています。アダプティブラーニング機能により、生徒個々の苦手な分野を割り出し、重点的に学習をおこなうことができます。

そのため、学習情報に基づき、個々に合わせたオーダーメイドの指導が可能です。高校受験、学校のテスト対策は進学塾メイツにお任せください！



教育をアップデートする

教育とテクノロジーを融合させ、教育が永続的に進化する仕組みを創ります

株式会社メイツ

代表者：代表取締役 遠藤尚範

本社：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2丁目14-2 新陽ビル602

設立：2014年1月

TEL：03-6233-8169

MAIL：recruit@mates-edu.com (担当：中島)

URL：<https://mates-edu.co.jp>